

すこやか河内

河内地域学校園だより vol. 004 2011/10/7

題字：河内中3年 清水里咲

～ 小中一貫教育を通して、子どもたちの心身の健やかな成長を目指します。～

☆ 9/7 児童生徒が「あいさつ運動」で直接交流

あいさつは、人と人が集団生活を行う上で最も基本となるもの。もちろん、社会生活をしていく上でもとても大切です。

すこやか河内学校園では3校で連携を取り、同じ日に「あいさつ運動」を実施することで、地域全体にあいさつを広めていこうと考えています。現在は中学生が卒業した小学校へ出向き、小学生と一緒にあいさつ運動を進めています。今後も毎月第1水曜日に「あいさつ運動」を展開していきたいと考えていますので、保護者や地域の皆様も一緒に声かけをお願いいたします。

○ 岡本西小の風景



中学生との交流ができて、すごく良い経験ができました。やっぱり中学生は、自分からあいさつができていて、良いお手本になりました。ほくもあいさつ運動の後半は、進んであいさつができるようになりました。(6年児童)



私はあいさつ運動をしてとても気持ちよかったです。中学生とあいさつ運動をしてドキドキしました。だけど大きな声であいさつして、大きな声でかえしてくれたのが、とてもうれしかったです。また中学校とあいさつ運動をしたいです。(5年児童)

○ 岡本小の風景

6年生のあいさつボランティア、縦割り班(2班ずつ交替)のメンバーに加えて、中学生が4名加わっての、あいさつ運動が行われました。



いつもと違って中学生と一緒にでしたが、新鮮な気持ちであいさつすることができました。もっともっと元気なあいさつを広めていきたいと思います。(6年児童)

昇降口に立ってあいさつするのは初めてでした。元気なあいさつをしてもらえると気持ちいいです。自分から進んであいさつできるようになりたいと思いました。(3年児童)

◎ 河内地域学校園 平成 23 年度 年間事業計画

期日	活動内容（会議，研修，交流等）	備考
23. 4・27	第1回小中合同研修会，運営会議	
23. 5・25	各部会研修会	
23. 5	小学校へ乗り入れ授業（国語），2校へ各1回	
23. 5	中学校へ乗り入れ授業（数学），1校から1回	
23. 6	中学校へ乗り入れ授業（国語，数学），1校から2回	
23. 6. 4	児童生徒交流	岡本小学校運動会
23. 6. 22	各部会研修会	
23. 6	小学校へ乗り入れ授業（算数），2校へ各1回	
23. 7	中学校へ乗り入れ授業（数学），1校から1回	
23. 8. 8	第2回小中合同研修会，運営会議	
23. 9. 7	各部会研修会	
23. 9	中学校へ乗り入れ授業（理科，英語），2校から各1回	
23. 10	小学校へ乗り入れ授業（英語），2校へ各1回	
23. 10	「地域学校園だより」発行	
23. 10. 22	児童生徒交流	岡本西小学校運動会
23. 10. 25	児童生徒交流（～27）	冒険活動教室
23. 11	小学校へ乗り入れ授業 岡本西小へ	
23. 11. 5	児童生徒交流	合唱コンクール
23. 11. 9	各部会研修会	
23. 11. 16	児童生徒交流	地域学校園クリーン活動
23. 12	小学校へ乗り入れ授業 岡本小へ	
23. 12	「地域学校園だより」発行	
23. 12. 7	各部会研修会	
23. 1	小学校へ乗り入れ授業 岡本西小へ	
24. 2. 8	第3回小中合同研修会，運営会議	
23. 2	小学校へ乗り入れ授業 岡本小へ	
24. 3	「地域学校園だより」発行	
24. 3. 14	児童生徒交流	

◇ 小中相互乗り入れ授業の充実について

本務校を離れて相互乗り入れを行う教員の授業や学級を補佐するため，後補充教員が市から配属されています。これまで，国語，数学，英語の教員が順番に地域学校園に着任していましたが，23年度2学期より，一人の後補充教員が常駐するようになります。このことにより，これまで教科の順番に負うところが大きかった相互乗り入れ授業計画を，児童の学習のタイミングに最適化させることが可能となります。小中相互乗り入れ授業の，一層の充実が期待されます。

◎ 小中相互乗り入れ授業

(1) 中学校 渡邊教諭 (6/14 岡本西小 6/16 岡本小 算数)

- ・渡邊先生は式の出し方や説明がよく分かった。だから、私も簡単に問題を解くことができた。
- ・中学校の先生は、小学校の先生と雰囲気が全然違った。
- ・中学校の先生方は、とても怖いイメージがあったけど、優しくとてもよかったと思う。

(2) 中学校 横塚教諭 (5/18 岡本小 5/25 岡本西小 国語)

- ・横塚先生は、文章をすらすら読んで聞きやすかった。国語の勉強が納得できた。
- ・国語も算数も、あれが中学校での勉強の仕方なんだなあと思った。わかりやすかった。
- ・中学校の先生の教え方はどんどん進んでしまうので、ついていくのがちょっと大変だったけど、ひとつひとつついていねいでわかりやすかった。



@注目！ ある小学生の感想

中学校の先生の授業を受け、小学校とは違うと思ったところがあります。一つは、板書が速いということです。小学校ではたくさん書くと待ってくれますが、どんどん書いても待ってはくれません。二つめは、黒板の書き方です。小学校では板書をそのまま写せばノートになりますが、自分でまとめなければなりません。三つめは授業の進め方です。小学校ではそれまでの学習内容を振り返りながら進めてくれますが、分かっているのが当たり前のように進めます。ですから、小学校で学んだことを、きっちり復習しておくことが大切だと思いました。(6年児童)

⇒ 小学校の先生から

「学習スタイルの違い」についてのマイナス評価としてとらえるのではなく、この児童が『中学校の学習に備えて、自分はこうしなくては』という、前向きな気持ちを示しているのだと考えます。このように、「一步踏み込んだ」考えを表現することができるようになったとすれば、本地域学校園の小中一貫教育の成果といえると思います。

⇒ 中学校の先生から

これこそが中1ギャップなのですね。小中の学習の連続性を高めるにあたって、黒板への情報提示の速度や内容、また既習の学習事項をどのように扱っていったら良いかを考えるための重要なヒントになりました。小中の枠を超えて指摘やヒントを得る事ができるすばらしさを、相互乗り入れ授業を通して強く感じることができました。

(3) 岡本小学校 羽石教諭 (9/18 河内中 理科)

中学1年生の理科「音」の単元を指導しました。本授業に参画して、小学校を卒業した後の生徒たちの生き生きとした活動をみることでとても良かったです。以前の理科では糸電話を小学3年生がやっていたのですが、その経験がないため、生徒たちがとても興味深く取り組んでいたのが新鮮でした。

(4) 岡本西小学校 篠原教諭 (9/22 河内中 英語)

事前に役割分担を密にしておいたことで、学習のねらいに即した指導を行うことができました。今回は、小学校当時の先生方の近況をお知らせするという役割でしたが、生徒達の関心を高める上で効果的だったと思います。



◎ 行事交流の様子

○岡本小学校運動会への交流



6月4日(土)晴天の中、岡本小学校の運動会が行われました。昨年に引き続き、古里中・河内中の1年生によるボランティア生徒19名が大活躍してくれました。来年生の誘導、綱引きの準備・片付け、放送・出発等の手伝いなど、5・6年生が自分の出番のため係が手薄なところを、テキパキと仕事を進めてくれました。また、本年度は全校ダンス「よさこいソーラン」に中学1年生が参加して一緒に踊り、大いに盛り上がり

りました。全校ダンスならではの光景に職員一同、目を細めていました。本部テントには、中学1・2年生の生徒が大勢顔を見せ、会話がはずんでいました。ボランティアとして活躍してくれた生徒の皆さん、お世話になりました。



@ 運動会ボランティアに参加した中学1年生の感想紹介

- ・卒業以来の岡本小だったので、なつかしく感じました。
- ・小学校の運動会がなつかしかったです。また、古里中の友だちと久しぶりに再会でき、話が盛り上がりました。違う中学校へ行った友達に会えてうれしかったです。
- ・6年生の時に踊った「よさこいソーラン」を、まさか中学生になった今年も踊れるとは思っていませんでしたので、びっくりしたり、一体感を味わったりと、いい思い出になりました。
- ・岡本小学校の卒業生であることを誇りに思いました。

○旧6学年担任の中学校訪問



@中学生の反応

- ・中学校に小学校の先生が来てくれて授業をしてもらった時は、小学校の頃を思い出しながら、とても楽しく授業を受けることができました。
- ・小学生の頃の先生が来てくれ、授業をしてくれると、とてもなつかしく感じられます。そして、小学校の頃の振り返りもできて、とても良いと思います。これからも、他の授業でもそのようなことを続けてもらいたいです。
- ・小学生の時に担任だった先生と、中学校で授業するのが楽しいです。卒業してもうその先生とは授業できないと思っていたら、中学校に入ってまた一緒に授業できました。とてもうれしかったです。



◇「鉄棒カード」について

すこやか河内学校園では体力の増強を推進するため、現在「鉄棒カード」を作成中です。

昨年度実施されたすこやか河内学校園各校(岡本小学校・岡本西小学校・河内中学校)の「宮っ子スポーツテスト」の結果や「うつのみや元気っ子プロジェクト」の運動ミニマムを踏まえ、すこやか河内学校園体力増強グループが中心となって作成しています。体育の授業はもちろんのこと、普段の児童生徒の外遊びでも利用できるものとなるよう、9ヵ年を通して利用できる鉄棒カードとする予定です。

昨今器械運動を好む児童生徒が少なくなり、それに伴い筋力の低下も見られるところです。すこやか河内学校園では基礎体力の向上を目指し、鉄棒運動を核として体力づくりに取り組みこととします。さらに補強運動として、体育の授業で実施するサーキットトレーニングのプログラムも作成中です。

今後、これらの学習カードを活用することを中心として、すこやか河内学校園の児童生徒の体力がますます向上していくことを願っています。